



わらしこだより



お正月休みが明け、わらしこ保育園にも子どもたちの笑い声や笑顔が戻ってきました。「あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします！」と友だち同士や先生に元気に挨拶する姿がほほえましいです。園に来ると、朝のマラソンや体操、外遊びも、いつものように薄着で楽しみ、生活のリズムもすっと戻ってきています。

これまでの積み重ねの中で、担任や友だちとの関係もぐっと深まってきた。年が明けてからの3か月は、その関係がさらに熟していく、遊びや活動がいっそう面白くなる時期。そして進級や就学に向けた“仕上げの時期”でもあります。わらしこでは今年も「健康で丈夫な体づくり」を大切に、散歩や外遊びに積極的に取り組んでいきます。

ご家庭でも、ちょっとした散歩などで一緒に体を動かしてみてください。「この子とじゃれあって遊べるのはあと何年かな」と考えてみると、忙しい中でも「今この瞬間」の我が子の成長に寄り添える、かけがえのないひとときなのだと感じていただけるのではどうでしょうか。



劇発表会がんばったね！

たくさんのご参観とあたたかい拍手をありがとうございました。今年は初めての会場で、皆さんにはご協力を願う場面が多くありましたが、快く応じていただき、無事に当日を終えることができました。心温まる感想文も多く寄せいただき、あらためてお礼申し上げます。

わらしこの劇発表会は、子どもの成長過程が見える「育ちの舞台」です。感想文からも、「堂々と演じている姿にびっくりしました」「家では見られない姿でした。友だちや先生との関係も見えて嬉しかったです」など、わが子の成長を喜ぶお声をたくさん頂きました。

園では、子どもは親から離れ、子ども同士の社会の中で、それぞれのペースで頑張っています。親なので、つい赤ちゃんの頃のように手を貸し、口を出してしまう。しかし、劇のステージに立つ姿からもわかるように、子どもは「一人の人」として、自分の役割を果たそうとしています。おうちでも、ものを取ってくれた、お母さんのために少し待っていてくれた…そんな日常の小さな場面で、「助かったよ」「ありがとう」と言葉にして伝えてあげてください。その一言一言が、「自分も家族の中で大事な役割を持っているんだ」という実感につながり、「自立と自律」の土台になっていきます。

わらしこから広がる子育ての輪

- * ダスキングお掃除教室
- * 企業協賛・ポケモン DVD・レゴ
- * スイムバンドコンサート
- * 警察官による不審者対応講習
- * 「子どもたちに元気をもらえます」と、たくさんの方が力になってくれました♪抱え込まず、多くの大人と関わる機会を作って下さい。親も子も周りの大人も元気になります♪
- * 「ぐるぐる・ゆらゆら遊び」、実は大事なんです
- * くるくる回る、ゆらゆら揺れる、ぶら下がる、ジャンプする…。大人から見るとただの遊びですが、子どもにとっては、体の向きや力の入れ方を感じる「脳の栄養」になる大切な時間です。
- * これらの感覚経験が不足すると、転びやすい、人とよくぶつかる、そわそわして落ち着きにくい、集中が続かない…といった姿につながることがあります。
- * お家でも、抱っこでくるっと回ったり、布団の上でゴロゴロ転がったり、楽しく体を動かす時間を少し意識してみてくださいね。